

発酵による変化を観察

キッコーマンこころダイニング(株)による特別授業

津森小で7月19日、キッコーマンこころダイニング(株)の茶谷良和社長ちやたによしかずによるオンライン授業が行われました。

これは、町が同社と結んでいる包括連携協定に関する取り組みの1つで、今回が2回目。6年生が前回の授業で仕込み、半年が経過したしょうゆを観察しました。

児童たちは、しょうゆの匂いを嗅いだり、味見をした感想や写真をそれぞれタブレット端末で記録。「味はしょっぱかった」、「前回と比べてサラサラになっていた」など、記録した画面を見せながら発表していました。



観察記録をオンラインで茶谷社長に発表



④協定書を掲げる西村町長と井上社長
⑤電気自動車を使用した外部給電実演

電気自動車を活用し災害に強いまちへ

ネットヨタ熊本(株)と包括連携協定を締結

町は7月29日、ネットヨタ熊本(株)と「災害時の体制強化と町民サービスの更なる向上に関する包括連携協定」を結びました。

3月に交流情報センターミナテラスで開催した竹あかりイベントで、同社と協力したことがきっかけとなり、協定の締結に至りました。

この協定により、災害時の避難所や平常時の防災訓練、イベントなどで、電気自動車を活用した外部給電による電源確保が可能になります。

同社の井上雄一郎社長いのうえゆういちろうは、「益城町の目指す復興将来像は、自分の思いと共通するものがある。町に一番近い店舗を持つカーディーラーとして、災害時の支援のみならず、平常時のイベントなどの協力を通じて、町のスポーツ振興の一助になればと思っている」とあいさつ。西村町長は、「災害時の電源確保について、電気自動車を活用した外部給電によりご支援いただけることはとても心強い。今回の協定締結を機に、災害に強いまちづくりの推進、町民利便性向上に、より一層取り組む」と述べました。

締結式終了後、電気自動車からスマートフォンや電気ポットなどへの給電も実演。車両1台で4、5日分の電力を供給できると説明を受け、参加者たちは感嘆の声を上げていました。

Best Smile

今月のベスト笑顔

